

平成 27 年 11 月 13 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 プ イ キ ュ ー ブ
 代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 間 下 直 晃
 (コード番号：3681 東証第一部)
 問 合 せ 先 取 締 役 C F O 大 川 成 儀
 (TEL. 03-5768-3111)

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向等を踏まえ、下記の通り、平成 27 年 8 月 13 日公表の平成 27 年 12 月期の通期連結業績予想を修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 平成 27 年 12 月期通期連結業績予想数値の修正 (平成 27 年 1 月 1 日～平成 27 年 12 月 31 日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	6,600	502	530	267	28円37銭
今回修正予想(B)	6,200	300	180	13	1円38銭
増減額(B-A)	△400	△202	△350	△254	
増減率(%)	△6.1	△40.2	△66.0	△95.1	
(ご参考)前期実績 (平成 26 年 12 月期)	4,681	403	594	261	28円66銭

(注) 前回発表予想及び今回修正予想の1株当たり当期純利益は、平成 27 年 10 月 31 日現在の発行済株式総数(9,410,400株)を基に算出しております。また、前期実績の1株当たり当期純利益は、平成 27 年 1 月 1 日付の1株につき2株の割合で実施した株式分割が前期の期首に行われたと仮定して算出したものです。

2. 修正の理由

当期連結業績予想について、売上高は、利益率の高い主力のクラウド型サービスの売上高が計画を上回る形で推移する見込みですが、アプライアンスの売上高については、電子黒板システムの販売で見込んでいた大型案件等が来年に先送りになるとみられること、また、低価格の会議室設置型テレビ会議システム「V-CUBE Box」の販売開始がやや遅れたこと等により、計画を下回る見込みとなりました。これらの結果、売上高は、前回発表予想を下回る見込みとなりました。

それに対し、費用については来期の成長を見据え、当初計画通り、当第4四半期も引き続き、人材採用、広告宣伝・販売促進等で積極的に販売活動投資を行う見込みです。

営業利益は、売上高の減少の影響に加えて、上記の通り、来期以降の利益拡大に向けた積極的な販売活動投資を継続するため、前回発表予想を下回る見込みとなりました。

経常利益は、営業利益の減少の影響に加えて、当第3四半期累計期間の営業外費用(主に為替差損)の実績及び直近の為替相場を勘案した結果、前回発表予想を下回る見込みとなりました。

当期純利益は、主に経常利益の減少の影響を受け、法人税等を勘案し、前回発表予想を下回る見込みとなりました。

以 上

(注) 本資料に記載しております業績予想等につきましては、現時点で得られました情報に基づき算定しております。実際の業績は、今後様々な要因により本資料の見通しとは異なる結果となる可能性があります。